

第一回



小集団活動発表会が開催されました！

人材育成研究所の立川義博先生の指導をいただき、看護部を中心とした部署で昨年より、小集団活動に取り組み、七月十四日、西郷町ふれあいセンターにおいて約半年の活動の成果を発表しあいました。

「小集団活動」？なんじゃら？とお思いの方もおられるかと思いますが、平たく言えば、職場改善活動です。どんな職場でも色々な問題を抱えていると思います。従来のカン、ケイケン、ドキョウで問題を回避したり解決してきた事を、簡単な問題解決技法を用い、解決していくのが小集団活動です。

当日は、神戸より立川義博先生を講師に招き（全国三十ヶ所以上の小集団活動を指導）、田中一隆副広域連合長を来賓に招いて、九つの部署がそれぞれのテーマで発表しました。講師の立川先生より「プレゼンテーションはすばらしい」とほめていた

だいたいのほど、パソコンやビデオなど使い、又、寸劇も取り入れた分かりやすくとても楽しい発表でした。

発表グループ	テーマ
看護助手	これだーれの？
透析室	ﾊﾞｯﾄﾞﾒｰｷﾝｸﾞについて
二階詰所	回診車、発車オーライ
レントゲン	連絡票の記入漏れ・記入ミスの改善
四階詰所	ある刑事（掲示）のリストラ事件
手術室	取り出しやすい器機械棚
外来	救急外来の整理整頓
総務課	どこ行くの？所在の明示
三階詰所	マウスケアの徹底に向けて

この中から、看護助手、手術室、外来の三グループが入賞しました。なかでも看護助手グループは、仕事をする上で身近な事柄の活動に取り組みました。では、入賞した「看護助手」の発表内容をご紹介します。



グループ名 マジック隊！
私達は、病棟は違いますが患者さまや看護師の少しでも手助けになればと毎日元気に階段を昇り降りしている看護助手チームです。よろしくお願ひします。

取り組みテーマ
これだーれの？誰の物かわかるようにしたい

当内科病棟は、患者さまの安静度や日常生活動作の低下等に伴い、よく患者さまに部屋移動をお願ひしてあります。その時、同じ持ち物があつたり、持ち物が誰の物かわからなくなつたりします。患者さまの持ち物すべてに名前の表示がしてあつたら、一目ですぐわかり、迷惑をかけずに部屋移動がスムーズに行えるのではないかと思ひ、この活動に取り組みました。・・・

ということマジック隊！は活動を始めた。病棟スタッフや患者さまにアンケートや聞き取り調査を行い、現状を把握する。誰の物か分からないという事を0%にするよう目標設定、そして原因究明、対策の検討を行う。はたまた、名前書きセットなる物まで作成し、ありとあらゆる物に名前書きをし始めた。



入賞したマジック隊！

結果として、目標の達成にはあと一歩というところでしたが、この取り組みをしたことで、いままで以上に気をつけようという意識が高まり、部屋移動もスムーズにできるようになり、チームワークも深まり、職場の活性にもつながったようです。また、患者さま・家族の方より「自分の物がわかりいいですね」と喜ばれています。

今年度小集団活動は、「自己改革」をテーマに、「コスト削減、連携、相互援助」をキーワードに病院全体で取り組む事が決定しています。次回発表会、みなさまにお見せできるくらい、より充実したものになればと思います。